



第1回 旭川駅周辺かわまちづくり検討会

説明資料

令和5年6月8日

旭川市

(1) 昨年度懇談会について

昨年度懇談会の開催状況

回数	開催日	議事内容
第1回	令和4年 5月31日（火）	<ul style="list-style-type: none"> • かわまちづくりの概要 • JR旭川駅周辺の立地特性と河川の現状 • 水辺とまちづくりの基本方針 • ソフト施策・ハード施策に関する検討
第2回	令和4年 8月24日（水）	<ul style="list-style-type: none"> • 前回懇談会の振り返り • ソフト施策・ハード施策（案） • 推進体制（案）及び年次計画（案）
第3回	令和4年 11月2日（水）	<ul style="list-style-type: none"> • 前回懇談会の振り返り • かわまちづくり計画書（案）
第4回	令和5年 2月15日（水）	<ul style="list-style-type: none"> • 前回懇談会の振り返り • パブリックコメントの結果報告 • かわまちづくり計画

区分	団体名及び役職
学識 経験者	旭川大学 経済学部教授
関係 団体等	旭川サイクリング協会 副理事長
	（一社）旭川観光コンベンション協会 専務理事
	（一社）大雪カムイミンタラDMO 専務理事
	ミズベリング旭川 代表
	旭川外来植物研究会 代表
	旭川市中学校長会 副会長
	旭川商工会議所 専務理事
	旭川市市民委員会連絡協議会 副会長
公募に よる者	公募市民（3名）



※懇談会の座長は学識経験者が担当
 ※旭川開発建設部及び旭川市は事務局として懇談会に参加し、企画運営等を実施
 ※公募市民3名の内1名は、転居により途中退会

(2) かわまちづくり計画について

かわまちづくりの概要①

観光等の活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、自治体や地元住民の連携の下で立案された実現性の高い整備・利活用計画により、**良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進**を図る。

●推進主体

- ・市町村
- ・市町村及び民間事業者
- ・市町村を構成員に含む法人格なき協議会

●かわまちづくり計画の作成

「かわまちづくり」の認定を受けようとする推進主体は、河川管理者と共同で、定める様式により「かわまちづくり」計画を作成します。

●河川管理者のソフト支援

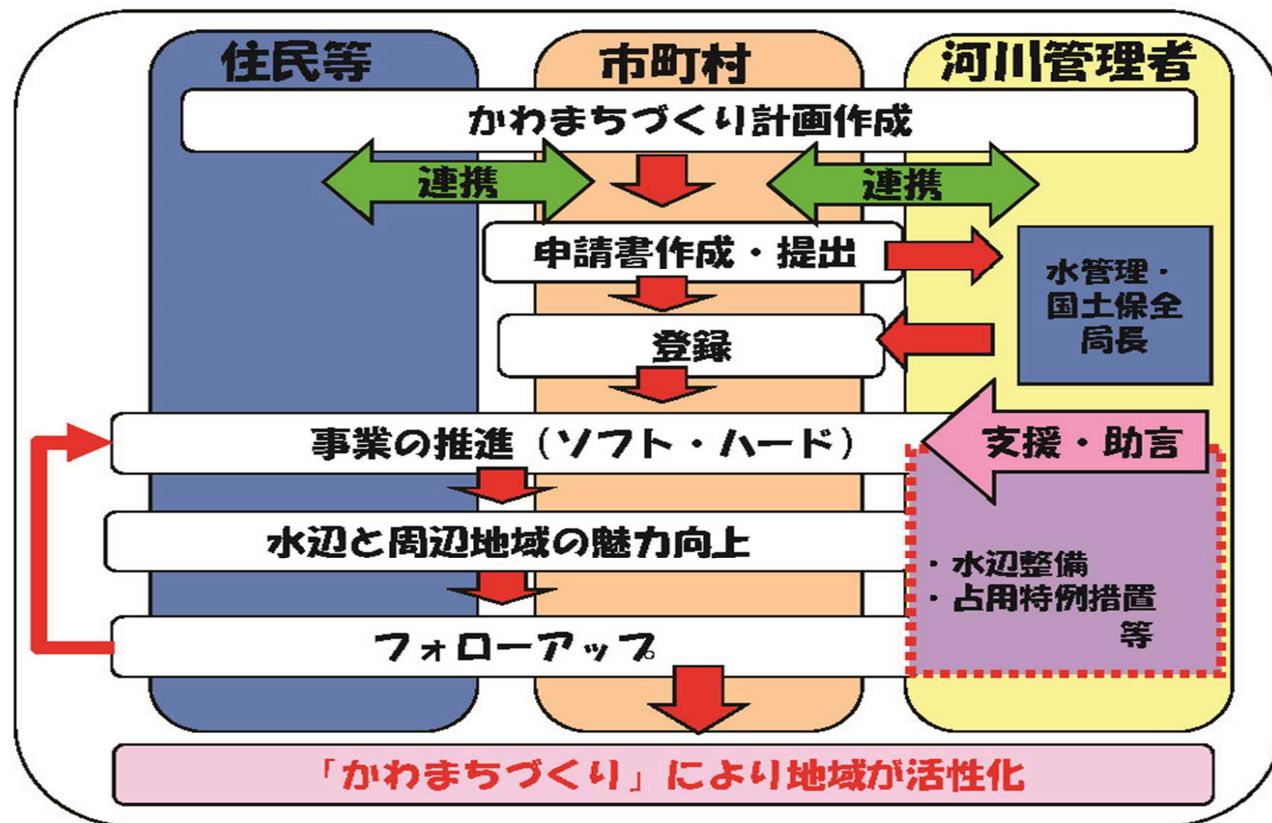
地域づくりのためのフォローアップとして、河川敷地占用許可準則の特例措置や河川管理施設等構造令の適用緩和等、推進主体の提案に基づき、河川管理者が判断し実施します。

●河川管理者のハード支援

河川管理者が推進主体と連携して、まちの空間と融合する河川空間を創出するために、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設を整備します。

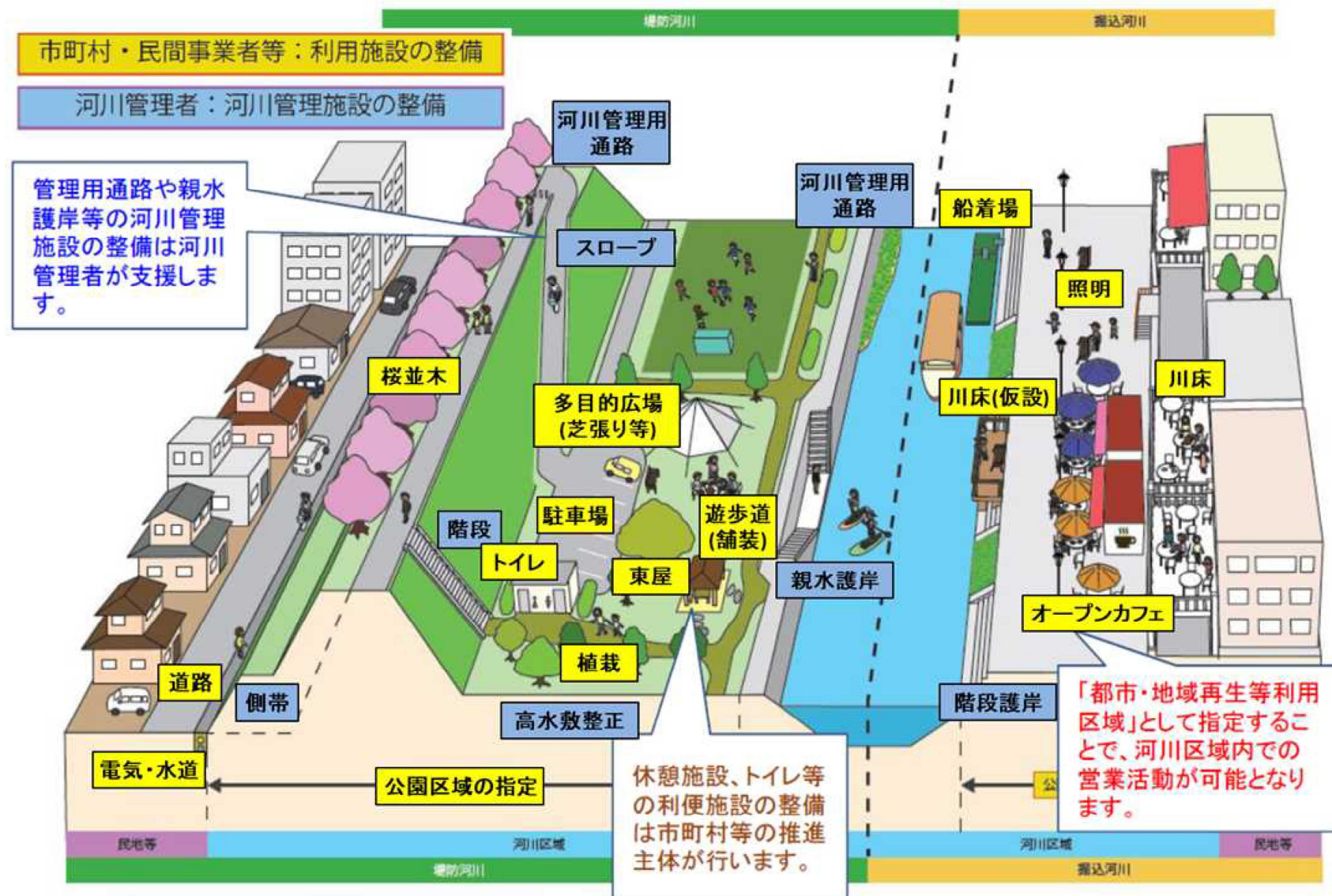
●認定要件

- ・まちづくりと一体的に良好な水辺空間の整備・利活用を図る必要がある河川
- ・市町村及び地域住民の水辺空間整備及び利活用について熱意が高い河川



かわまちづくりの概要②

河川管理者は、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設を整備し、**まちづくりと一体となった水辺整備を支援**するとともに、市町村及び民間事業者は、河川空間の利用施設を整備することができる。



水辺とまちづくりに関する基本方針

地域特性に基づく、①北海道内の広域基幹サイクリングルートを中心、②JR旭川駅から観光施設（旭山動物園）までのサイクリング利用、③忠別川を活用したアクティビティの3つの観点を踏まえ、**JR旭川駅南側地区を中心として「かわ」と「まち」を結ぶ**ことを基本方針として、既存計画と整合を図りながら整備・利活用を推進していく。

北海道内の広域基幹
サイクリングルートを中心

忠別川を活用した
アクティビティ

JR旭川駅から旭山動物園
までのサイクリング

【目標】

JR旭川駅南側地区を拠点として、忠別川・牛朱別川の地域資源を活かした水辺整備・利活用による観光・教育・スポーツなどを通じた新たなまちの賑わいづくり
— 河川空間とまち空間をつなぐ良好な空間形成 —

- 観光動線の形成による忠別川・牛朱別川における新たな観光価値の創出
- 自然豊かな市民の憩いの場の創出と、郷土愛の醸成
- 都心空間の整備と回遊性の向上による関係人口・交流人口の拡大（地域経済発展）

<誰のために>

- 地元住民
- 観光客（道内・道外）
- 修学旅行生
- 旭川を愛する人

<どこで>

- 水辺空間
（忠別川・牛朱別川）
- JR旭川駅
- 周辺地域

<何を>

- 水辺の利活用
- 周辺地域との連携
- 歴史文化の発信
- 環境教育

基本理念と利活用・整備方策（案）の関係

基本理念の柱	フィールド	利活用方策（案）のイメージ	整備方策（案）のイメージ
北海道内の広域基幹サイクリングルートを中心 ▶河川管理用通路の活用 ▶JR旭川駅周辺の水辺利用	JR旭川駅 南側地区	■広域周遊サイクリング・フットパスコースの設定 ▷初心者・中上級者向け推奨コースマップの作成 ▷サイクリング・ランニング大会の実施 ▷サイクリングモニユメントの有効活用 （インスタ映えスポット、サイクリングイベント会場等）	■観光周遊コース案内・誘導看板 ▷観光拠点施設間の動線構築 ■サイクリングモニユメント ▷広域基幹サイクリングルート起終点としての賑わい創出
		■ICTを活用した情報提供 ▷かわまちづくりのSNSアカウント作成、動画配信 ▷かわまちづくり関連サイトQRコードの発信 （コースマップ、地元広報誌等への掲載）	■観光周遊コース案内・誘導看板 ▷観光拠点施設間の動線構築
忠別川を活用したアクティビティ ▶河川管理用通路の活用 ▶忠別川の水辺利用	忠別川	■アクティビティ利用プランの設定 ▷JR旭川駅からのレンタサイクル片道乗り捨て・ラフティングによる川下り	■親水広場 ▷水辺で川と触れ合い水遊びができる空間の創出
		■水辺空間を活用した環境教育の推進 ▷忠別川の歴史・自然を学ぶ体験学習の連続講座、水防講座 ▷カヌー・SUP等のアクティビティを活用した体験イベント	■親水広場 ▷水辺で川と触れ合い水遊びができる空間の創出
		■冬のアクティビティプランの設定 ▷河川管理用通路沿いのアイスクャンドル （あさひかわ街あかりイルミネーションの拡張） ▷堤防沿いの積雪面を利用した雪遊びイベント （スノーシュー等の冬のアクティビティ体験等）	■親水広場 ▷水辺で川と触れ合い水遊びができる空間の創出 ■取付道路 ▷水辺へのアクセス性向上
		■水辺空間で新たなイベント・アウトドア利用企画 ▷キッチンカーによる飲食販売、水辺ヨガ体験等 ▷既存インフラ施設を活用した水辺イベント （橋梁へのプロジェクションマッピング等）	■親水広場 ▷水辺で川と触れ合い水遊びができる空間の創出
		■安全・安心な水辺利用に関するルールづくり ▷ルールの明確化（利用ルール・ガイドラインの策定） ▷利用ルールのPULL型・PUSH型情報発信による周知 （周知看板、出前講座、新聞広告への掲載等）	■橋梁標示 ▷水辺アクティビティ利用者の視認性向上
JR旭川駅から旭山動物園までのサイクリング ▶河川管理用通路の活用	牛朱別川	■サイクリング利用プランの設定 ▷JR旭川駅～旭山動物園間のレンタサイクル片道乗り捨て	■路面標示 ▷サイクリング利用者の視認性向上
		■広域周遊サイクリング・フットパスコースの設定 ▷初心者・中上級者向け推奨コースマップの作成 ▷サイクリング・ランニング大会の実施 ▷サイクリングモニユメントの有効活用 （インスタ映えスポット、サイクリングイベント会場等）	■側帯 ▷駐輪・休憩スペースの確保
		■安全・安心な水辺利用に関するルールづくり ▷ルールの明確化（利用ルール・ガイドラインの策定） ▷利用ルールのPULL型・PUSH型情報発信による周知 （周知看板、出前講座、新聞広告への掲載等）	■路面標示 ▷サイクリング利用者の視認性向上

利活用方策（案）の概要

地域のニーズに沿ったソフト施策の実施による魅力向上と地域のブランドイメージ定着を図ることにより、地域に愛され観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指す。



整備方策（案）の概要

JR旭川駅南側地区を旭川市街地における地域観光・まちづくりの拠点に位置づけ、観光客を積極的に誘致し地域の歴史・文化・観光等に関する情報を発信するとともに、市民に日常的に水辺を利用してもらい、水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいを創出するため、忠別川・牛朱別川の水辺整備を実施する。



(3) 利活用方策の検討について

観光・アクティビティ・教育が融合した利活用①

旭川市内の観光・アクティビティ・教育の拠点となるエリアを「かわ」でつなぎ、**観光・アクティビティ・教育が融合した水辺空間の利活用**を推進することにより、新たな観光動線の創出やエリア間の観光客流動の活発化に伴う広域的な観光振興や活性化を図る。



観光・アクティビティ・教育が融合した利活用②

地域と連携しながら、観光・アクティビティ・教育が融合した利活用方策を推進することにより、JR旭川駅南側地区の親水性・利用価値の向上とともに「観光面における交流人口の増大」「広域的なサイクルツーリズムへの貢献」「修学旅行の誘致」といった効果が期待される。

①観光面における交流人口の増大【観光】

- ▶観光交流施設と連携し、多様なニーズに即したサイクリングツアー等の企画・積極的なPR
- ⇒「水」と「まち」をつなぐ新たな旭川の魅力提供
- ⇒世界中から訪れたいくなる観光地づくりに寄与



②広域的なサイクルツーリズムへの貢献【アクティビティ】

- ▶かわまちづくりと一体となったサイクリング利用の推進
- ⇒「サイクリングのまち旭川」としての認知度・知名度向上
- ⇒北海道のサイクルツーリズムにおける旭川の存在感増大
- ⇒サイクルツーリズムによる広域的な地域活性化に寄与

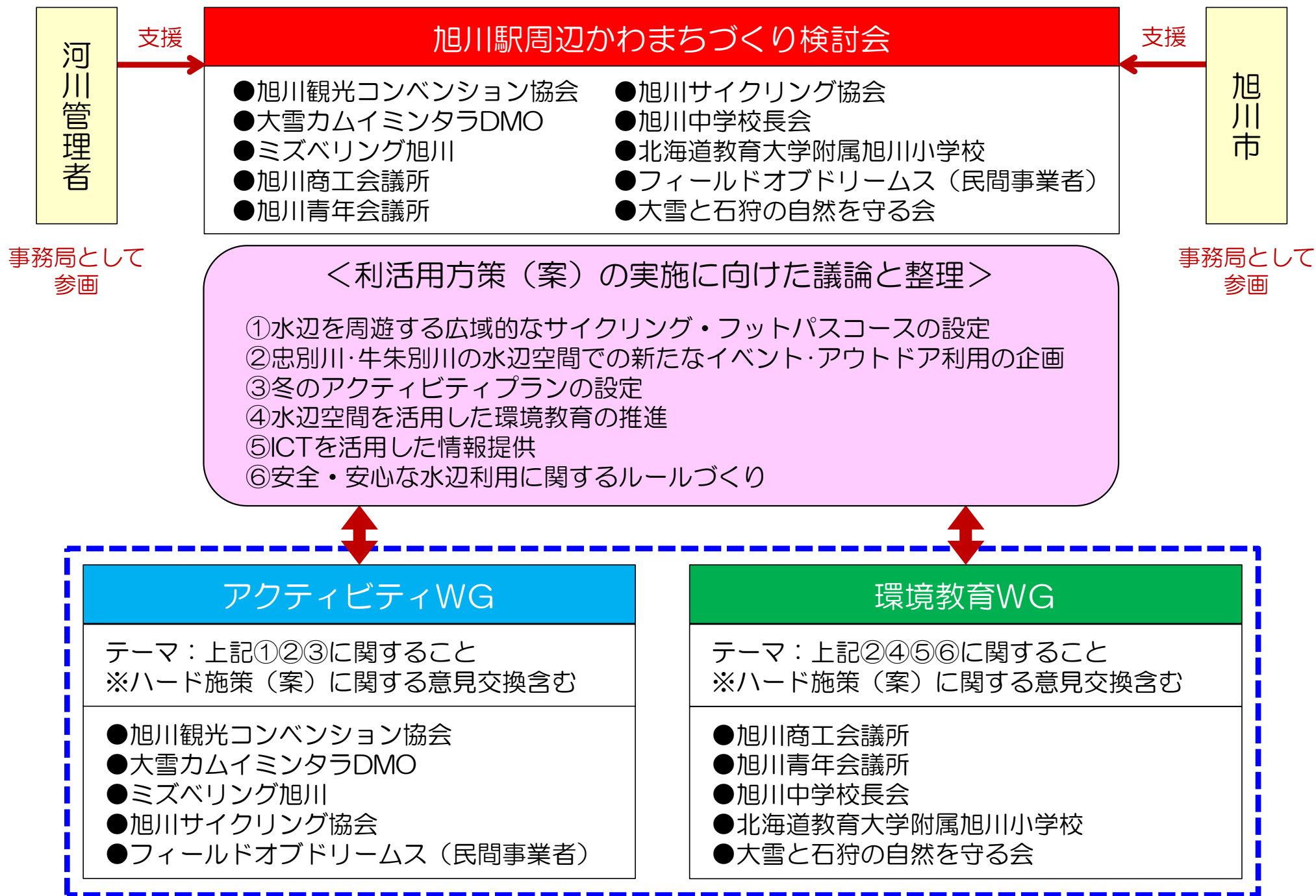


③修学旅行の誘致【教育】

- ▶小中学生向けの参加・体験型プログラム企画・積極的なPR
- ⇒水辺空間における多様な環境教育機会の創出
- ⇒次世代を担う子どもたちの感性刺激・学びの充実
- ⇒周辺地域における「学びの拠点」づくりに寄与

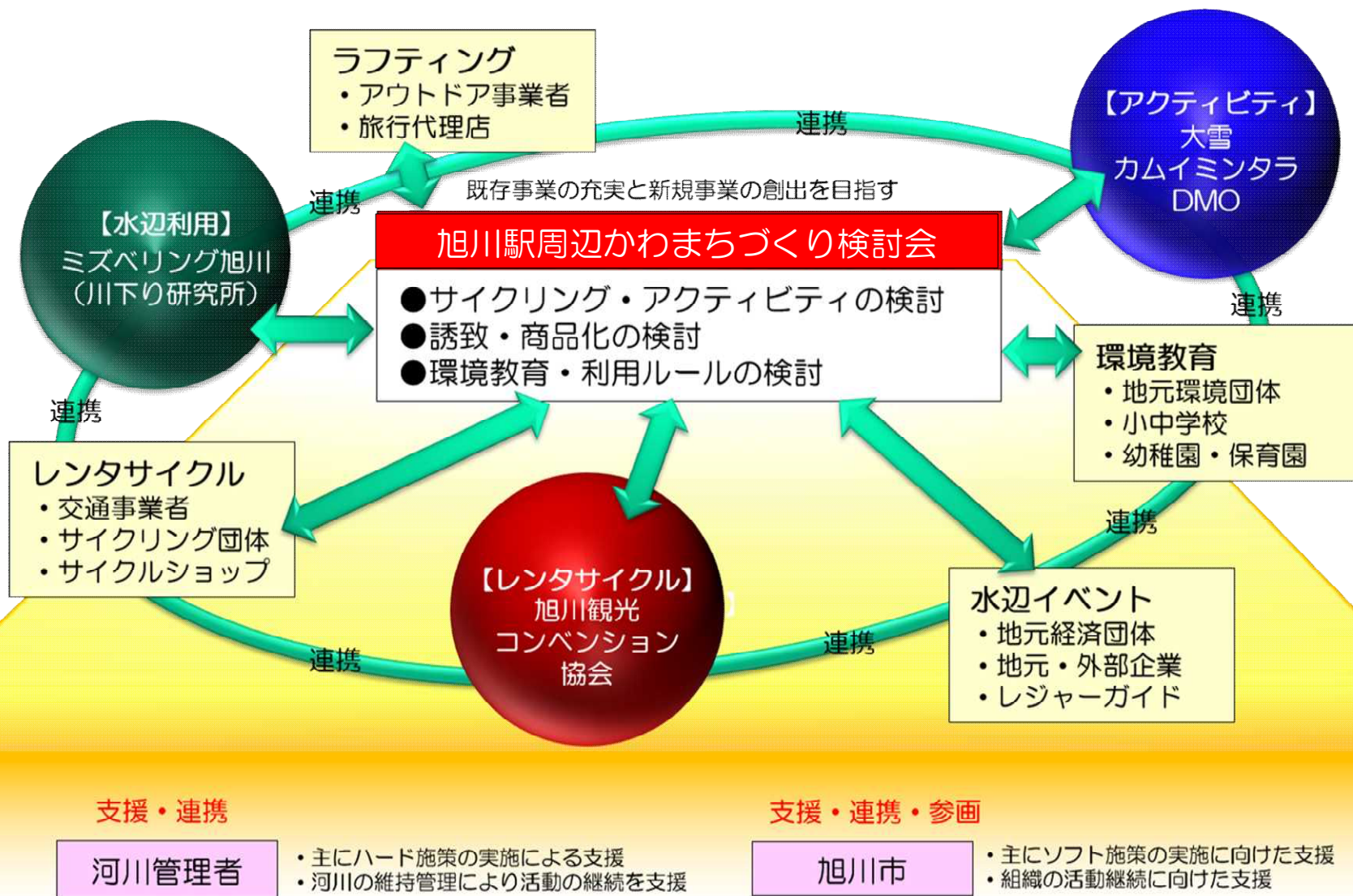


検討の推進体制①



検討の推進体制②

令和5年度以降、「旭川駅周辺かわまちづくり検討会」を開催し、水辺整備や河川空間の活用推進に向けた具体的な方策の実践に向けた議論・検討等を推進する。



ソフト施策の議論・検討の流れ

[かわまちづくり計画の利活用方策（案）]

- ①水辺を周遊する広域的なサイクリング・フットパスコースの設定
- ②忠別川・牛朱別川の水辺空間での新たなイベント・アウトドア利用の企画
- ③冬のアクティビティプランの設定
- ④水辺空間を活用した環境教育の推進
- ⑤ICTを活用した情報提供
- ⑥安全・安心な水辺利用に関するルールづくり



[STEP.1 議論・検討のポイント]・・・アクティビティ・環境教育WG

- ①実施目的（なぜやる？ 期待される効果は？）
- ②実施場所（どこでやる？ 忠別川？ 牛朱別川？）
- ③実施期間（いつやる？ 春？ 夏？ 秋？ 冬？ 通年？）
- ④実施内容（何をやる？）
- ⑤実施主体（誰がやる？ 誰とやる？）
- ⑥実施費用（どれくらいお金がかかりそうか？ どのように財源を確保するか？）



[STEP.2 優先順位の設定・段階的な実施スケジュールの検討]・・・検討会 どのソフト施策を優先的に実施するか？



[STEP.3 施策の具体化]・・・検討会及びアクティビティ・環境教育WG

実施場所・期間・内容の詳細検討、役割分担の設定、実施に向けた関係機関等との調整

(4) 今後の進め方について

今年度のスケジュール（案）

	かわまちづくり検討会	アクティビティ・環境教育WG	その他
5月			計画申請
6月	第1回検討会 ・検討体制、年間スケジュール等の確認 ・意見交換	第1回WG（6月または7月） ・アクティビティ、環境教育に関する施策の議論、検討	
7月			
8月	第2回検討会 ・WG中間報告 ・意見交換、利活用トピックス報告		計画登録
9月		※第2回検討会を踏まえ、検討結果を精査 ※必要に応じてWGを追加実施	
10月		↓	
11月		↓	
12月	第3回検討会 ・検討結果とりまとめ ・次年度スケジュール等に関する意見交換、利活用トピックス報告		
1月	※次年度スケジュール等を検討 ※必要に応じて検討会を追加実施	※第3回検討会を踏まえ、必要に応じて検討結果を精査	
2月	↓	↓	
3月	↓	↓	